

# 培良タイムス

ホームページアドレス  
http://www.kyotanabe.ed.jp/nc21/bairyo-jh/

令和2年5月7日(木)  
第1号  
京田辺市立培良中学校  
TEL 62-9363

## 268名の子ども達とともに 新たなスタートにあたって 校長 山下 博史

校門周りの桜が花から葉桜に代わり、新緑がまぶしくなってきました。3月から続く学校の臨時休業が5月31日まで延長されることが決定し、残念ながら、まだ新学期が始まりません。そんな中でも、季節はお構いなしに移りゆきます。

お子様のご進級、ご入学で心も軽やかになる季節のはずが、新型コロナウイルスによる感染症拡大予防のために、一堂に会して始業式・入学式ができないことを残念に思っています。培良中学校は本年度の新入生91名を合わせ、全校生徒268名で令和2年度がスタートします。全校が会せなくとも培良中学生であることを心に秘めてください。この「タイムス」で先生方を紹介しますので、新学期が始まったら、しっかり挨拶ができるように、皆さん、先生方の学年やクラス・教科を知っておいてください。

さて、先述したように新型コロナウイルスの影響で多くの行事が縮小、中止を余儀なくされています。このような中でも学校教育は粛々と進めていきたいと考えています。

保護者の皆様、地域の皆様の一層のご協力・ご支援を賜りたいと存じます。

さて、昨年度も同じように4月の培良中学校タイムスで述べましたことを、新入生、そして保護者の皆様に知っていただきたく、ここに掲載させていただきます。

本校の教育目標はなんだか知っていますか？

それは「自己を磨き、人を大切にし、社会貢献できる生徒」です。

この目標は3つのことから成り立っています。1つは自己を磨くという言葉です。

自己を磨くとはどのようなことを言うのでしょうか。それはさまざまなことに努力することだと思います。

授業で今までよりも発表をがんばろう。とか部活動でレギュラーを勝ち取るために厳しい練習に取り組もう

か、自分自身を理想に近づけるために努力することです。

今年は何のようなことに努力しようか。ぜひ1つは決意を持ってください。

学校は君たちの努力を応援し、サポートしていく場です。

そのためになら、培良中学校の先生方は努力を惜しみません。

そしていつも言っているように「努力は足し算」です。

もうひとつの『人を大切にする』ということは何のような意味があるのでしょうか。

昨年は、7月京都では京都アニメーション放火で多くの方が犠牲になりました。また9月から10月にかけての台風・大雨被害などで災害が東日本を襲いました。そして12月から今現在にかけて、新型コロナウイルスによる感染の拡大が、日本のみならず世界中を席卷しています。その中で人と人との絆の大切さが改めて注



目を浴びました。ただ、人を大切にするという目標はもっと身近なこともたくさんあります。挨拶をする。転入学してきた人に声をかける。困っている友人のために手を差し伸べる思いやりなど。これも人を大切にすることです。また、服装などのマナーや礼儀もそうだと思います。その基本は人とよい関係を作っていこうとする姿勢だと思います。これをコミュニケーションの能力と言います。このコミュニケーションの能力をつけていきましょう。まず、一番簡単な第一歩は挨拶です。生徒同士、先生と、学校に来られたお客さんと元気で気持ちのいい挨拶をしてください。

3つ目の「社会貢献できる」というのはどのような意味があるのでしょうか？

社会貢献というのは自分以外の人や地域のために、何か役に立つことを見つけて積極的に取り組むことです。ボランティアをすることも社会貢献の一つです。昨年度は6月・9月に「市民一斉清掃活動」に参加しようと呼びかけ、部活動時間を考慮して参加を促しました。

12月には「咲きほこれ！B(培良)-フラワープロジェクト」と題して4つの施設に鉢植えの花を送り届け、そこで歌やハンドベルを披露しました。

本年度も、もちろん引き続き行いながら、例えば登下校の通学路環境美化の日を作って、地域に貢献していきたいと思っています。

「人の役に立つこと」「社会貢献」は、自分も気持ちよくなります。

元ヤンキースの松井秀喜選手は「自分の打率や本塁打のことよりも『チームの優勝を願うこと』が、結果的に自分のパフォーマンスを最大限に引き出すのに一番効果があることを、僕は経験的に理解している」と話していました。

『あの人の。世の中の。笑顔のために。』

『同時に自分のために。』どんなことができるか考える1年間にしてほしいと思います。

「自己を磨き、人を大切にし、社会貢献できる生徒」・・・教育目標

「努力は足し算、協力は掛け算」・・・合い言葉

これらを念頭に、新しく変身した仲間が集まった新しいクラスを、どのクラスにも負けない「すばらしいクラス」にしてください。そして、「すばらしい学年」「すばらしい培良中学校」を築いていきましょう。

令和2年度も、昨年度までの教育の成果をもとに、義務教育9年間の系統的・継続的な指導で、子どもたちに確かな学力や生きる力を身に付けていけるよう、草内小学校・田辺東小学校との連携、家庭・地域との協力を一層進め、特色ある教育活動を展開してまいりたいと考えております。

本校の教育が保護者や地域の皆様の期待に応えることができるよう、記念すべき39年目の歩みを始めます培良中学校の教育に教職員一丸となって努力してまいります。

保護者・地域の皆様には、あたたかいご支援とご協力を賜りますよう、よろしく願い申し上げます。

あとになりましたが、今年度は新たに5名の教職員が着任いたしました。培良中学校の校風をしっかりと受け継ぎ、本校教育の推進に精一杯努めてまいります。どうぞよろしくお願い申し上げます。



